



発行：田辺三菱製薬株式会社 大阪市中央区道修町3-2-10  
 監修：国立大学法人浜松医科大学小児科学講座 教授 宮入 烈 先生



田辺三菱製薬キャラクター  
**たなみん**

今回の  
 メインテーマは  
**予防接種  
 スケジュールの  
 立て方**  
 についてだよ！

## 計画を立てて 最適なタイミングで受けましょう

### スケジュールを立てるときのポイント

お子さんの予防接種は種類も多く、接種可能な時期にきちんと予防接種を受けるためには早めにスケジュールを立てることが大切です。そこで今号では、予防接種スケジュールを立てる際のポイントを紹介します<sup>1)</sup>。かかりつけ医と相談のうえ、同時接種を取り入れれば、円滑に予防接種が受けられます。

- POINT 01 予防接種を受けるかかりつけの小児科を決める
- POINT 02 下記の表であらかじめ予防接種の種類と時期を把握する
- POINT 03 定期接種に加え推奨されている任意接種についても確認する
- POINT 04 同時接種を取り入れつつ具体的な接種予定日を検討する
- POINT 05 わからないことはかかりつけ医と相談してスケジュールを決める

#### 任意接種

予防接種法での規定がなく、原則費用は個人負担だが、定期接種とともに重要<sup>1)</sup>

病気にかかるリスクを考慮して接種を検討する必要あり

#### 同時接種

(同時に複数のワクチンを接種すること)

- 副反応のリスクや効果は、別々に接種する場合と変わらない<sup>1)</sup>
- 必要な免疫を早くつけられ、時間的負担も減る

### 推奨される予防接種の種類

ポイントに沿って下記の表をもとに、ぜひ予防接種スケジュールを立ててみてください。さらに詳しい情報は、日本小児科学会が公表している「日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール」<sup>2)</sup>を確認してみると良いでしょう。

参考資料2)より作成

推奨月齢 / 年齢	ワクチン (黒字は定期接種、青字は任意接種、数字は接種回数)
2か月	B型肝炎 <sup>①</sup> 、ロタウイルス(1価 or 5価) <sup>①</sup> 、肺炎球菌(20価 or 15価) <sup>①</sup> 、5種混合 <sup>①</sup>
3か月	B型肝炎 <sup>②</sup> 、ロタウイルス(1価 or 5価) <sup>②</sup> 、肺炎球菌(20価 or 15価) <sup>②</sup> 、5種混合 <sup>②</sup>
4か月	ロタウイルス(5価のみ) <sup>③</sup> 、肺炎球菌(20価 or 15価) <sup>③</sup> 、5種混合 <sup>③</sup>
5~7か月	BCG <sup>①</sup>
7~8か月	B型肝炎 <sup>③</sup>
12~15か月	肺炎球菌(20価 or 15価) <sup>④</sup> 、水痘 <sup>①</sup> 、 <b>任意接種</b> おたふくかぜ <sup>①</sup>
12~23か月	5種混合 <sup>④</sup> 、麻しん・風しん混合 <sup>①</sup>
18~23か月	水痘 <sup>②</sup>
3歳	日本脳炎 <sup>①②</sup>
4歳	日本脳炎 <sup>③</sup>
5歳以上7歳未満	麻しん・風しん混合 <sup>②</sup> 、 <b>任意接種</b> 3種混合 <sup>①</sup> 、ポリオ <sup>①</sup> 、おたふくかぜ <sup>②</sup> <b>留意点</b> 麻しん・風しん混合 <sup>②</sup> は小学校就学前の1年間
9~12歳	日本脳炎 <sup>④</sup>
11歳	2種混合 <sup>①</sup> 、または代わりに <b>任意接種</b> 3種混合 <sup>②</sup> を接種してもよい <b>留意点</b> 3種混合 <sup>②</sup> は11~12歳
中学1年生女子	ヒトパピローマウイルス(9価) <sup>①②</sup>

\* 5種混合ワクチンは百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ・インフルエンザ菌b型(Hib)感染症を、3種混合ワクチンは百日せき・ジフテリア・破傷風を、2種混合ワクチンはジフテリア・破傷風を予防するワクチンです。



https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content\_id=138

日本小児科学会が推奨する  
**予防接種スケジュール**  
 (公益社団法人日本小児科学会)

これで入学前に  
 しっかり  
 対策できそう！



### お役立ち情報

お子さんの注射の痛みをやわらげるコツは  
**気をそらすこと！**

? 注射を受けるお子さんにはどのようなコミュニケーションをとってあげていますか？

日本医師会では、予防接種の最中におもちゃや動画で気をそらしてリラックスさせるという工夫が紹介されています<sup>4)</sup>。

実は海外の研究でも、年齢に合ったおもちゃや幼児向けアニメ番組を使って気をそらすことは、予防接種の苦痛を軽減させることにつながると報告されているくらいです<sup>5)</sup>。予防接種を受けるお子さんとのコミュニケーションのコツとして覚えておくと役立つかもしれません。



しっかり予防接種スケジュールを立てることが  
 感染対策につながります

【参考資料】  
 1) 「日本小児科学会の「知っておきたいわくちん情報」(公益社団法人日本小児科学会) https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content\_id=263 (参照2024年11月)  
 2) 「日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール」(公益社団法人日本小児科学会) https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content\_id=138 (参照2024年11月)  
 3) 「日本小児科学会推奨の予防接種キャッチアップスケジュール」(公益社団法人日本小児科学会) https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content\_id=18 (参照2024年11月)  
 4) 「健康ぶらさ No.551 注射の痛みを和らげる工夫」(公益社団法人日本医師会) https://www.med.or.jp/dl-med/people/plaza/551.pdf (参照2024年11月)  
 5) Cohen LL. Health Psychol. 2002; 21(2): 207-211.

ワクチンを接種することは感染症から人々や社会を守るというベネフィットがある一方、副反応のリスクもあります。ワクチン接種に関して気になることは、お住まいの市区町村またはかかりつけ医に相談しましょう。

「ワクチンInformation」は、ワクチン.net (https://www.wakuchin.net/) からpdfを取得できます。



ワクチンデビューは生後2か月から

# 5種混合ワクチンの 予防接種を受けましょう



## ジフテリア

感染すると息がしにくくなり、心臓障害や神経麻痺を起こすこともある重篤な病気です。

## 百日せき

風邪のような症状ではじまり、徐々に咳がひどくなり顔を真っ赤にして連続的に咳き込むようになります。年齢が低いほど症状は重く、無呼吸発作やけいれんを起こすこともあります。

## 破傷風

土の中に潜んでいる破傷風菌が傷口から侵入して感染する病気です。けいれんや口が開かないなどの症状が現れます。

## ポリオ

ポリオウイルスによって手や足に麻痺が起こり、後遺症が残ることもあります。「小児麻痺」とも呼ばれています。

## Hib\*感染症

髄膜炎や敗血症などの重い病気を起こすことがあります。ほとんどが乳幼児で発生しますので、注意が必要です。

※インフルエンザ菌b型

生後2か月から

1回目

20日以上\*

2回目

20日以上\*

3回目

6か月以上\*\*

4回目

\*20~56日の間隔

\*20~56日の間隔

\*\*初回免疫後6か月~18か月後

初回免疫(1~3回目)

追加免疫

合計4回の接種を受けると基礎免疫が完了します。特に、4回目の接種を忘れないように、上手に接種スケジュールを組みましょう。

ワクチンを接種することは感染症から人々や社会を守るというベネフィットがある一方、副反応のリスクもあります。ワクチン接種に関して気になることは、お住まいの市区町村またはかかりつけ医に相談しましょう。